環境ねほりはほり

～私たちが住む岩手のこと～

特集：親子で岩手町の不思議を体験

環境学習交流センター

いわて環境学習応援隊

「いわて環境学習応援隊」は、地域や学校などで環境学習をする際、見学の受け入れなどの【体験的なプログラム】や【講師派遣】を通して、皆さんの学習をサポートしてくれる企業団体です

東北自然エネルギー株式会社 雫石事業所

いわて環境学習応援隊のメンバーである八幡平市にある松川地熱発電所「地熱館」を取材しました。

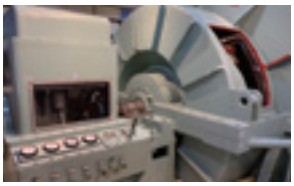
対応していただいたのは、東北自然エネルギー株式会社雫石事業所調査役小田中浩一さん。

「松川地熱発電所は1952年ボーリングを開始し、開発着手から10年をかけて日本初の地熱発電所は誕生しました。地熱発電は、火山帯の地下に溜まった天然の蒸気に向けて井戸を掘り、取り出した蒸気の力で発電機を回して、電気をつくるものです。使用済みの蒸気を冷ます冷却塔は、円筒型の美しいフォルム(日本の地熱観光のシンボルでもある)をしています。冷却水の水質検査を行うなど環境面での配慮もしています」と小田中さんは、話されました。

その後、実際に使用された蒸気タービンと発電機の機器を見学しました。開発を重ね今では、認可最大出力23,500KWとなっています。

半世紀にわたり安定して発電を続けてきたことが評価

松川地熱館に入ると…



説明パネルや、蒸気タービンと発電機のある展示室

され、日本機械学会より「日本機械遺産」に認定(2016年8月機械遺産第77号)されました。

最後に小田中さんは「地熱発電は、天然の蒸気を利用して発電するため、地熱がCO_2排出量がきわめて少ないクリーンな国産エネルギーであり、さらに地産地消のエネルギーであることを多くの人に伝えたい」と熱く語っておられました。

八幡平の四季おりおりの大自然の中にある、蒸気を噴き出す井戸、はりめぐらされた蒸気を運ぶ輸送管、カッコいい冷却塔など、体感できるよい場所だと思います。地元の田頭小学校の5,6年生、洋野中学校なども見学に訪れています。

フォルムの美しい冷却塔が稼働している時の様子

2025年秋に新しい発電設備へ更新するため、取材に行った2024年10月は、発電を中止しているということでした。

松川地熱発電所「地熱館」の見学

見学期間　4月下旬～11月中旬（休館日 毎週火曜日）

※2025年まで発電所の建替工事を実施している関係で、臨時休館や敷地内立入規制を行う場合があります。

見学のお問いあわせ：東北自然エネルギー株式会社　総務部　022-722-6510

大ザリガニ釣り大会

盛岡城跡公園
鶴ヶ池浄化大作戦

たくさんザリガニを採ってきれいな池に戻そう

澤﨑わかなさん(岩大附属中3年)は、小学校のころから盛岡城跡公園のトンボが少なくなってきたことに気が付いていました。

なぜトンボが少くなっているのか調べていくうちに、池に棲んでいるアメリカザリガニが、トンボの幼虫を食べてしまうことが一因ではないかと考えるようになりました。

繁殖力が強いアメリカザリガニは、池に生息する水生生物を捕食し、水を浄化する水草をはさみで切って水質の悪化を招くと言われています。

そこで、アメリカザリガニを駆除するイベント「大ザリガニ釣り大会」を開催することにしました。

第1回目は2021年に開催し、約150人の一般参加があり、232匹のアメリカザリガニを釣りました。

2022年の第2回は、規模を拡大して、岩手県知事と盛岡市長にもご参加いただきました。

畑の肥料にするためにゆでました

盛岡市長(当時)と岩手県知事と澤﨑ファミリー

2024年の第4回目は、澤﨑わかなさんの妹の、なのはさん(岩大附属小4年(当時))が中心となり開催されました。

2024年は、6月8日(土)に開催しました。今年度は、池の水生生物を展示や解説も行い、たくさんの人に活動内容を知っていただきました。4回目の今回は、参加者が約300人を超え、今までの最多数となりました。参加者のみなさんの力で、池の水質は少しずつ改善し始めています。澤﨑わかなさん、なのはさんは、今後もこの活動を続けていきたいと思っているそうです。

これからも鶴ヶ池浄化大作戦を応援していきます。

■参加者数とザリガニ捕獲数

	開催年(年)	参加者(人)	ザリガニ捕獲数(匹)
第1回	2021	150	232
第2回	2022	250	266
第3回	2023	230	318
第4回	2024	355	209

大ザリガニ釣り大会 活動の受賞歴

令和4年度　「Green Blue Education Forumコンクール　環境大臣賞」
「第19回　盛岡市教育委員会　善行の部　児童・生徒表彰」

令和5年度　「Green Blue Education Forumコンクール　長谷川ミラ賞」
「東京海洋大学 海街コミニティスクール主催 第一回森川海街子どもサミット 最優秀賞」

特集：こどもエコクラブ交流会

親子で岩手町の不思議を体験

9月14日（土）エコクラブ交流会が、岩手町「肉のふがね」と「石神の丘美術館」を会場に開催されました。
エコクラブの会員やスタッフなど、総勢23名が参加して岩手町の不思議を体験しました。

盛岡駅からバスで約1時間、「肉のふがね」岩手川口工場（岩手町）に到着。

「肉のふがね」では、「いわて短角牛」を使い、魅力的な商品をつくっています。いわて短角牛は、日本国内で飼育頭数が、わずか1％以下という希少種であり、そのほとんどが岩手で生産されています。また、牛を放牧して育てることで『いわて短角和牛のいる風景』を守ることも大切にしている企業です。

ドンドン出てくるので大変！

専用の機械でスモーク

肉のふがねの職人さんのお話を聞きます

いよいよ、**「ソーセージの不思議」を体験！**

今回の体験メニューは、岩手町産の特産キャベツ「春みどり」と豚肉を使ったソーセージ作りです。

機械に取り付けられた豚の腸にミンチしたお肉がドンドン入っていきます。10㎝くらいの長さで区切って、くるくる回して重ねていきます。ある程度の長さになったら、両端を結び留めて3本の両側を持って、真ん中をグルグルまわす。腸がピンと張ってる事を確認します。**これがパリっという歯ごたえの不思議**の秘密なんですって。

約1時間、専用の機械でスモーク。ピンク色だった腸詰めの段階からミルク色の優しい色に変化。**スモークの時間によって出来上がりの肉の色が変化する不思議**を体験しました。

作ったソーセージの完成を待つ間、石神の丘美術館へお出かけ。

季節の草花であふれ、たくさんの彫刻が並ぶこの美術館は、2008年4月に、岩手県ではじめて「恋人の聖地」に選定された素敵なところです。

子どもたちにとっては、そんなロマンチックなことは一切お構いなし。秋晴れの中、野外の丘に入ると、一斉にかけだし、思いっ切り広場を満喫しました。**きれいな場所をみると走り出してしまう子どもの不思議**(岩手町だけではないかな?)を感じました。

終わりに、完成したソーセージをおみやげにいただき、無事交流会は終了しました。

次回は、ぜひあなたも参加してみませんか?

みんなでランチタイム

芝生の上は、走っても気持ちがいいね。

いわてエコクラブは
こちらから

肉のふがね　石神の丘美術館

岩手の山を大事にする木材屋

株式会社柴田産業

株式会社柴田産業(一戸町)は、岩手の山を大事にする木材屋です。

山部門の業務の一つである「植林」は、普及啓発のために、一般の人達、地域の人達と一緒に活動しています。

クマさんとハチさんもいたよ!

6月22日、柴田産業主催の植林体験に参加してきました。一般参加者は親子25名でした。

開会式では、開会宣言、山のおはなし(伐採・搬出・間伐・植林のこと)、そしてクマさん役とハチさん役になったスタッフさんから山での活動の注意事項についてのお話がありました。続いて、植林たいそうをして、チームに分かれ、カラマツの苗を各チーム10数本植樹しました。植林用バッグ*は、mont-bellとの共同開発により制作したものです。

＊赤いバッグは植林用のバッグです。運ぶ時は、せおいます

その後、「森のたからものさがし」をしました。森の中で、木材加工業の松森木工所(滝沢市)が、カラマツで加工製作したお皿に、森のたからものをのせて、「森のアート作品」をつくりました。

森には、たからものがいっぱいあったよ

カラマツを植樹し、カラマツを使った木製品にふれ、森には、たからものがいっぱいあって、山をまるごと楽しめるイベントでした。

美味しいおにぎり弁当もいただきました!

あなたも来年度の植林体験にでかけてみませんか!?

みんながんばったね

株式会社　柴田産業
HP はこちら

水と緑の交流フォーラム

「いわて水と緑の交流フォーラム」が11月30日（土）にアイーナを会場に開催されました。今回のテーマは「水と緑をつなぐ絆」です。毎年行われてきた環境保全活動知事表彰などに加え、パネル展示、ワークショップ、会場内を巡るスタンプラリー、環境保全活動を行う県内4団体のリーダーが意見を交換するパネルディスカッションが繰り広げられ、700人を超える県民でにぎわいました。

団体展示

環境保全活動に取り組む22団体が、活動内容を紹介するパネル展示などを行いました。

「漂着ごみ」を使ったアート作品

スタンプラリー

展示パネルを見てまわり、ワークショップを体験しながらのスタンプラリーでは、全7か所のポイントをまわった参加者に、レーザーで名前を入れたコースターなどを記念品として贈りました。

スタンプラリーの記念品

ワークショップ

工作やゲーム、アート作品づくりなどを5団体が出展し、来場した子どもたちといっしょにワークショップを楽しみました。

シリアスボードゲーム
「熊と僕らの物語」

「森の工作館」

「わくわく時計教室」日時計作り

「スイミーを作ってみよう」

パネルディスカッション

地域でかつやくする環境保全団体のリーダー4人が「子ども向け自然体験メニュー」をテーマに意見交換しました。パネラーおよび会場の皆さんとの間で活発な意見が交わされ、今後の連携や活動につながる話し合いとなりました。

「もりおか森の恵みクラフト」

今回のフォーラムは、岩手の自然をベースに活動する団体間の交流を深め、メインテーマ「水と緑をつなぐ絆」にふさわしい内容となりました。出展者、来場者など、多くの方から、「ぜひ次回も開催して欲しい」との要望がありました。

環境学習交流センター

環境学習交流センターは、アイーナ（いわて県民情報交流センター）を拠点に、環境に関するさまざまな活動を行っています。環境について学びたい方、活動したい方のサポート、情報発信などをしています。

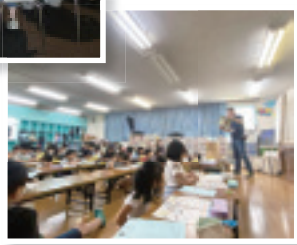
センターでは環境に関する展示も行っています。大人も子どもも、見て、触れて、楽しみながら学べる内容となっています！

こどもエコクラブ

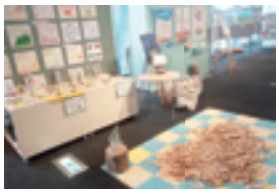
環境アドバイザー派遣

環境学習講座

訪問学習



出張環境学習会



開館時間　9:00－18:00
休 館 日　年末年始とアイーナ休館日
入場無料

環境学習交流センターでは、岩手県内の環境に関する情報やイベント情報を発信しています。

- X（Twitter）　@iwate_eco
- Facebook　https://www.facebook.com/iwate.eco
- いわての環境ポータルサイト「Iwate-eco」　http://www.iwate-eco.jp/

岩手県地球温暖化防止活動推進センター

岩手県地球温暖化防止活動推進センターは、県内の地球温暖化防止に向けた取組をサポートしています。主に地球温暖化・気候変動に関する情報発信や、普及啓発、学習・研修のお手伝い、県内の活動団体の支援等を行っています。

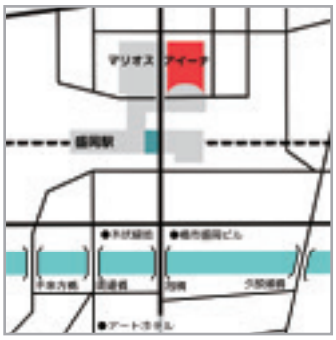
いわてわんこ節電所

家庭のエコチェックアンケートに答えて、普段の生活で取り組んだ省エネ行動による CO_2 削減量を知ることができます。

いわてわんこ節電所は
こちらから

いわて地域脱炭素推進員の派遣

県民の方が地球温暖化についての研修等を行う際、講師として、いわて地域脱炭素推進員を派遣しています。



環境学習交流センター
岩手県地球温暖化防止活動推進センター
〒020-0045
岩手県盛岡市盛岡駅西通1－7－1
アイーナ（いわて県民情報交流センター）5F
Tel ： 019-606-1752
Fax ： 019-606-1753
Mail ： eco@aiina.jp

アドバイザー、推進員派遣の
お申し込みはこちらから

2025年3月発行